

「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略2024」中間案に関する 市民意見募集（パブリックコメント）の実施結果について

1. 市民意見募集（パブリックコメント）の実施

（1）意見募集期間

令和3年12月15日(水)から令和4年1月14日(金)まで

（2）周知方法

仙台市公式ホームページでの募集のほか、市役所本庁舎1階市民のへや、市政情報センター、宮城野区・若林区・太白区情報センター、各区役所および総合支所の案内窓口で配布。

（3）意見提出方法

みやぎ電子申請サービス、郵送、ファクス、Eメール

2. 意見提出件数

14件

【意見の分類及び件数内訳】

意見分類	※「中間案」の項目に対応	件数
「1. 戦略の趣旨」に関するご意見		0件
「2. 本市の交流人口の状況」に関するご意見		0件
「3. これまでの施策と今後取り組むべき課題」に関するご意見		0件
「4. 交流人口ビジネスに関わる関係者のご意見」に関するご意見		0件
「5. 仙台市交流人口ビジネス活性化戦略2024の全体像」に関するご意見		0件
「6. 成果指標」に関するご意見		0件
「7. 戦略期間におけるロードマップ」に関するご意見		0件
「8. 5つの戦略プロジェクト」に関するご意見		
・重点プロジェクト1「エリア別ブランディングプロジェクト」		3件
・重点プロジェクト2「TOHOKU as ONE プロジェクト」		1件
・重点プロジェクト3「インバウンド&MICE 強化プロジェクト」		3件
・重点プロジェクト4「「観光×デジタル」プロジェクト」		1件
・重点プロジェクト5「交流人口ビジネス事業者連携プロジェクト」		2件
「9. 主な重点施策」に関するご意見		4件
「10. 資料編【交流人口の動向等】」に関するご意見		0件
その他		0件
計		14件

3. 意見の概要と本市の考え方

NO	項目	意見の概要	本市の考え方
1	<p>「8. 5つの重点プロジェクト」</p> <ul style="list-style-type: none"> 重点プロジェクト1 <p>「エリア別ブランディングプロジェクト」</p>	<p>エリア分けすることにより、各地域に深掘りした進め方ができる一方で、縦割りの取組みにならないよう、仙台として一体感のある取組みが必要ではないか。</p>	<p>『5 交流人口ビジネス事業者連携プロジェクト』施策1の観光関連事業者同士の連携において、仙台として一体感のある取組みを進めてまいります。</p>
2	<p>「8. 5つの重点プロジェクト」</p> <ul style="list-style-type: none"> 重点プロジェクト1 <p>「エリア別ブランディングプロジェクト」</p>	<p>1,000本の体験プログラムを作成したが、「仙台らしさ・仙台ならではの」体験プログラムが少ない。伊達政宗関連のコンテンツを作りこむことはできないか。</p>	<p>『1 エリア別ブランディングプロジェクト』施策2において、各エリアの特性に合わせた体験プログラムの創出に取り組んでまいります。</p>
3	<p>「8. 5つの重点プロジェクト」</p> <ul style="list-style-type: none"> 重点プロジェクト1 <p>「エリア別ブランディングプロジェクト」</p>	<p>全国都市緑化仙台フェアはまたとない機会である。誘客促進や実証実験の機会として活用すべきではないか。</p>	<p>『1 エリア別ブランディングプロジェクト』施策1において、フェアに合わせて歴史や文化を活かしたコンテンツの創出に取り組んでまいります。</p>
NO	項目	意見の概要	本市の考え方
4	<p>「8. 5つの重点プロジェクト」</p> <ul style="list-style-type: none"> 重点プロジェクト2 <p>「TOHOKU as ONE プロジェクト」</p>	<p>東北の夏祭りをPRして認知度をさらに上げるのは良いが、現地は当日オーバーツーリズム状態となっており、SDGsの観点からも望ましくないのではないか。</p> <p>については、ゲートウェイである仙台で、オンラインやVRなどデジタル技術を使っていつでも夏祭りを楽しめるコンテンツをつくってはどうか。実際に各県を訪れるきっかけづくりにもなるのではないか。</p>	<p>『2 TOHOKU as ONE プロジェクト』施策1において、仙台を含む東北の地域や人、特産品などの魅力を体験できるオンラインツアーを実施し、バスツアーと連動させることなどにより、交流人口の拡大につなげてまいります。</p>

NO	項目	意見の概要	本市の考え方
5	「8. 5つの重点プロジェクト」 ・重点プロジェクト3 「インバウンド&MICE強化プロジェクトプロジェクト」	外国人の目線に立ち、競合する国内の他都市と比較して仙台・東北が優れている点を意識した上で、個性を尖らせた策が必要ではないか。	『3 インバウンド&MICE強化プロジェクト』施策1において、仙台・東北の魅力である「自然」「食」「体験」を活かし、誘客促進に繋げてまいります。
6	「8. 5つの重点プロジェクト」 ・重点プロジェクト3 「インバウンド&MICE強化プロジェクトプロジェクト」	健康志向に訴求するツーリズムを推進する理由を教えてください。また、健康志向の旅行における東北の強みとはどういったことか。	新型コロナウイルス感染症により、3密を回避した旅行へのニーズや健康に対する意識が高まっていることから、自然を満喫しながら健康増進につながるコンテンツを活用した誘客に取り組むこととしています。仙台・東北には自然や温泉など、健康増進に資するコンテンツが豊富にあるため、こうした強みを活かしながら、誘客促進につなげてまいります。
7	「8. 5つの重点プロジェクト」 ・重点プロジェクト3 「インバウンド&MICE強化プロジェクトプロジェクト」	SDGsの観点は必要だが、ただ要素を入れただけでは弱い。SDGsはあくまで付加価値要素であり、コンテンツ自体に魅力があるかどうか重要である。	頂いたご意見を参考に、SDGsの視点を取り入れながら魅力的なコンテンツの創出を検討してまいります。
NO	項目	意見の概要	本市の考え方
8	「8. 5つの重点プロジェクト」 ・重点プロジェクト4 「「観光×デジタル」プロジェクト」	LINEを活用し、宿泊や体験プログラム等の予約システムや、問合せ対応サービスを作ってはどうか。	『4 「観光×デジタル」プロジェクト』施策2において、AIを活用した観光案内の実証事業を実施し、デジタルを活用した効果的・効率的な観光案内について検討してまいります。

NO	項目	意見の概要	本市の考え方
9	「8. 5つの重点プロジェクト」 ・重点プロジェクト5 「交流人口ビジネス事業者連携プロジェクト」	観光関連事業者が連携することは賛成だが、ただ集まって情報連携しただけでは不足。成果が見える取組みにつながる連携や協議体を作る必要があるのではないか。	『5 交流人口ビジネス事業者連携プロジェクト』において、様々な事業者と行政が情報連携・意見交換する場を設定し、事業者間での相互連携を図るとともに、DMOの検討も含め、地域が一体となって「観光」に取り組める仕組みを検討してまいります。
10	「8. 5つの重点プロジェクト」 ・重点プロジェクト5 「交流人口ビジネス事業者連携プロジェクト」	交流人口ビジネス表彰は素晴らしい取組みだが、定額の賞金だけでなく、表彰後軌道に乗るまで援助するなど、補助内容に柔軟性を持たせる必要があるのではないか。	『5 交流人口ビジネス事業者連携プロジェクト』施策2において、ビジネスマッチングにつながる交流イベントの開催など、表彰後を視野にいれた取組みを検討してまいります。
NO	項目	意見の概要	本市の考え方
11	「9. 主な重点施策」	トク旅の施策を閑散期と繁忙期で利用基準を変えるなど調整してはどうか。	「9. 2022年度（令和4年度）事業一覧」の「その他の主な重要施策」の宿泊促進キャンペーンについては、感染症の状況や国や宮城県の動向などを踏まえ、効果的な時期・内容を検討してまいります。
12	「9. 主な重点施策」	大型観光イベントは、可能な範囲で「参加型」の要素も必要ではないか。例えば、一部の時間帯だけ自由に参加できるなど。	実際に「参加」し「体験」することは旅行満足度の上昇等につながると考えており、ご意見を参考に検討してまいります。
13	「9. 主な重点施策」	文化やスポーツを活用したツーリズムは、内容によって「仙台ならではの」になる可能性がある。発掘と深堀が必要では。	文化やスポーツをはじめ、様々なコンテンツの発掘、創出に努めてまいります。
14	「9. 主な重点施策」	市内の宿泊施設における感染防止対策のPRをしてはどうか。	仙台市HPにて、「テレワーク対応の宿泊施設」の紹介を行っており、今後も、感染状況に応じて効果的な情報発信を検討してまいります。